

諸国檀那願文帳

貞治四（一三六五年）四月十四日付けの戸隠山中院義養坊阿闍梨と善光寺西門正一房の熊野本宮参詣記録。『山岳修験』第6号（1992-01）に「新出 熊野本宮大社文書 付畠中家文書」（熊野本宮大社現蔵・畠中守家旧蔵）の一つとして掲載された。「諸国檀那願文帳」の名称はその編者が付したもので、無表題冊子の諸国の旦那のリストである。

信濃國善光寺西門正一房（花押）

信濃國戸隠山中院義養坊阿闍梨（花押）

貞治四年四月十四日

なお、「信濃史料 補遺編上」 276頁に次のようにある。

○正平廿年（貞治四年）四月十日ノ條ノ次第六卷四
三九頁ニ、左ノ一條ヲ加フ、

十四日、水内郡戸隠山中院義養坊、聖教ヲ書寫ス、

〔無表題冊子〕○和歌山縣 熊野神社本宮所藏

(奥書) (水内郡)

信濃國善光寺西門正一房 (花押)

善光寺正一
房ノ本ヲ以
ツテ書寫ス

(水内郡)

信濃國戸隠山中院義養坊阿闍梨 (花押)

貞治四年四月十四日

註 「信州大学教育学部紀要」(通号 98・1999-12-01)の「戸

隠頭光寺年表「古代・中世」(牛山佳幸)に、熊野本宮大

社所蔵の「諸国檀那願文帳」に貞治四(1365年)三月五日

に、戸隠山中院義養坊と善光寺西門正一坊が熊野本宮に参

詣して願文を奉納したとあるが、「三月五日」はこの前の旦

那の事項の日付の紛れで、本来「四月十四日」であろう。